



TOPICS  
3



第72回

# 全国植樹祭

しが  
2022

木を植えよう びわ湖も緑のしずくから



トチノキをお手植えされる天皇陛下 (提供: 滋賀県)



ホンシャクナグをお手播きされる皇后陛下 (提供: 滋賀県)



おことばを述べられる天皇陛下 (提供: 滋賀県)



式典会場



記念植樹をする金子農林水産大臣

6月5日、「木を植えよう びわ湖も緑のしずくから」をテーマに、天皇皇后両陛下のオンラインでのご臨席のもと、滋賀県甲賀市鹿深夢の森で「第72回全国植樹祭」が開催されました。

滋賀県では、昭和50年5月25日に栗東市(当時の栗太郡栗東町)で「第26回全国植樹祭」が開かれ、天皇皇后両陛下によるお手植え(ヒノキ、モミジ)などの式典行事が行われており、今回の大会は2回目の開催となります。

式典前のプロローグでは、古くから人々の暮らしと関わり、滋賀県の文化を担ってきた豊かな琵琶湖と、その周りを取り囲む森林との繋がりが映像とダンスで紹介されました。

式典では、天皇陛下から「健全な森林を育み、木々を木材として循環利用しながら、次の世代、またその次の世代へと引き継いでいくことは、私たちの果たすべき大切な使命であると考えます」とのおことばを賜りました。また、細田博之国土緑化推進機構会長(衆議院議長)及び三日月大造滋賀県知事のあいさつがあったほか、全国の緑化功労者や各種コンクールの表彰が行われ、金子原二郎農林水産大臣などによる記念植樹が行われました。

赤坂御用地では、天皇陛下がスギ(少花粉スギ「近江さわやか杉」)、トチノキ、アカガシの苗木を、皇后陛下がヒノキ、イロハモミジ、エドヒガンの苗木をそれぞれお手植えされました。また、天皇陛下はクロマツとコウヤマキ、皇后陛下はウツクシマツとホンシャクナグの種子をお手播きされました。

最後に、濱田純一国土緑化推進機構理事長が大会宣言を行い、三日月滋賀県知事から来年全国植樹祭が開催される岩手県の達増拓也知事に、全国植樹祭のシンボルである「木製の地球儀」を手渡しして幕を閉じました。

次回の第73回全国植樹祭は、来春、岩手県の高田松原津波復興祈念公園を主会場に開催される予定です。

## 全国植樹祭とは

全国植樹祭は、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する理解を深めるため、昭和25年から各都道府県を巡って毎年春季に開催されている国土緑化運動の中心的な行事です。

